



かみさと



議会 だより

- ◇3月定例会の審議状況 …… P 2
- ◇5月臨時会の審議状況 …… P 7
- ◇3月定例会一般質問に9人… P 8
- ◇研修会レポート等 …… P17
- ◇6月定例会会期日程等 …… P18



【かみさと鳴子会】

毎週水曜日の19:30～20:30に長幡公民館で活動中。

平成16年3月から活動を開始し、現在12人で「笑顔で健康、若さと美貌」をスローガンに、鳴子踊りを楽しく踊っています。基本的には呼ばればどこでも行きます。又踊りも教えます。(高齢者施設入所者や児童館利用児童に教えました。)レパートリーは30曲あります。

- 相川 裕見子氏(代表) 高山 悦子氏
- 岡崎 早苗氏 立石 よし江氏
- 木暮 久子氏 根岸 英衣氏
- 斉藤 米子氏 花形 由美子氏
- 洪沢 久江氏 福田 民子氏
- 高橋 国江氏 八木 洋子氏



【竹吹会】

毎週金曜日の18:00～20:00に長幡公民館で活動中。

平成20年から活動を開始し、現在6人で楽しくボケ防止に尺八を練習しています。

●竹吹会

- 今回の参加者
- 斉藤 朝光氏(代表) 入澤 英雄氏
- 泉 英奉氏 藤原 惣一氏

【琴奏会クローバース】

毎月第1・2・4月曜日の13:30～15:30に長幡公民館で活動中。

平成27年から活動を開始し、現在6人で楽しく大正琴を練習しています。

※公民館祭りや公民館定期利用団体合同発表会及びふれあいサロンなどで合同で演奏しています。

●琴奏会クローバース

※団体のご意向により、メンバーの氏名の掲載は控えさせていただきます。

第1回 3月 定例会

3月4日~21日

令和6年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算を可決



第1回3月定例会は3月4日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案29件、請願（継続審査）等2件を審議して21日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

上里町職員定数条例の一部を改正する条例

要旨 定年延長の影響による職員の年齢構成緩和等に対応する改正を行うものです。

上里町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 人事院勧告等を踏まえ特定業務等従事任期付職員の給与の改定を行うものです。

上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 「地方自治法の一部を改正する法律」の公布に伴い、育児休業を取得した場合の会計年度任用職員の勤勉手当の支給の改正を行うものです。

上里町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 子ども医療費支給制度の対象者等を明確にする改正を行うものです。

上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 「母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令」の公布に伴い、施設の重要事項の書面揭示等の改正を行うものです。

上里町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 県の「ひとり親家庭等医療費支給事業実施要綱」の一部改正に伴い、定義規定の整理等の改正を行うものです。

上里町介護保険条例の一部を改正する条例

要旨 「第9期介護保険事業計画」の策定に伴う令和6年

度から令和8年度までの介護保険第1号被保険者の保険料の改正を行うものです。

上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例

要旨 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等」の一部を改正する省令」等の公布に伴い、町が指定権限を有する「指定居宅介護支援等事業」等の人員、設備及び運営の基準の改正を行うものです。

上里町営住宅条例の一部を改正する条例

要旨 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の一部改正により引用部分の整理を行う改正を行うものです。

上里町公民館設置及び管理条例の一部を改正する等の条例

要旨 長幡公民館の所在地を長幡児童館へ移動し、上里町就業改善センター及び上里町総合学習館を廃止する改正を行うものです。

上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例

要旨 「水道法」の一部改正に伴い、水道整備等に関する権限の一部を厚生労働大臣から国土交通大臣へ移管する改正を行うものです。

上里町下水道条例の一部を改正する条例

要旨 令和6年度からの流域下水道維持管理負担金単価の増額による下水道使用料の算定方法の浴場営業用の区分を廃止する改正を行うものです。

上里町税条例の一部を改正する条例

要旨 「地方税法」等の一部改正に伴い、能登半島地震災害に係る雑損控除等の特例規定の整備の改正を行うものです。

◆道路線認定◆

上里町道路線の認定

要旨 国道17号本庄道路の整備等による町道5路線の認定をするものです。

◆令和5年度補正予算◆

上里町一般会計補正予算(第7号)

概要 歳入歳出それぞれ14億15万8千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ116億7460万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・給与費△4631万2千円
- ・住民税非課税世帯等給付金事業(第3回) 1億1238万9千円

・予防対策事業 △9909万7千円

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆契約◆

工事請負契約の変更

要旨 神流リバーサイドロード築造工事の契約を変更し、金額を1223万9百円増額の9658万9千9百円とするものです。

工事請負契約の締結

要旨 町営四ツ谷団地改修工事の工事請負契約を締結するものです。8079万5千円。

◆令和6年度予算◆

要旨 一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業会計を慎重審議のうえ可決しました。(下表参照) なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に掲載してありますので省略いたします。

◆陳情◆

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

※令和5年第1回定例会における継続審査分

要旨 庁舎管理規則の厳守、庁舎内で無許可での政党機関紙の営業・勧誘行為の禁止又は自粛、執務室内に立ち入つての配達・集金の禁止等や、実態調査等の実施及び心理的圧迫を受けた職員に対する適切な対応を行政に求めることを要請するものです。(庁舎内での政党機関紙勧誘行為の自粛を求める埼玉の会)

委員会採択 採択
現状も変化がないため、町は自宅等での集金などを関係者に働きかける必要があり、政治的中立性への疑義を生じさせない為の配慮をし、上里町庁舎管理規則の遵守という基本的な努力をすべきです。

◆専決処分◆

専決処分の承認を求めること(承認第1号)

要旨 「上里町事務手数料条例の一部を改正する条例」を専決処分したことについて承認を求めるものです。戸籍電子証明書提供用識別符号等の交付手数料の規定について所要の改正を行うものです。

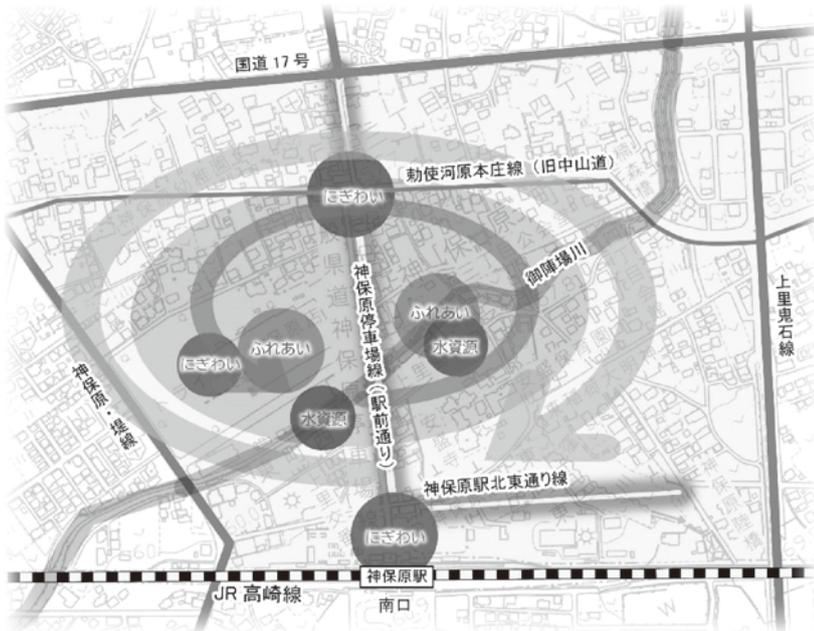
令和6年度一般会計・特別会計・企業会計 当初予算集計表

(単位：千円)

区分	会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減率
	一般会計	10,749,000	10,583,400	1.6%
特別会計	国民健康保険	3,237,763	3,143,986	3.0%
	介護保険	2,085,348	2,158,346	-3.4%
	後期高齢者医療	445,447	391,449	13.8%
企業会計	水道事業	1,099,279	1,367,265	-19.6%
	下水道事業	819,322	718,388	14.1%
	農業集落排水事業	23,846	34,975	-31.8%

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

議会は令和6年度予算を賛成多数で可決。
 令和6年度新規事業の中から、議会が注目する事業をPickup!
 町はどこにお金をかけ、何を狙っているのか、しっかり見届けます。



**水泳指導業務委託料
 (小学生)**

430万円

小学生の水泳授業を民間事業者に委託する事業委託料

駅北東通り線調査設計業務委託料

1096万4千円

駅北東通り線詳細設計業務委託料

997万8千円

駅周辺と駅北東側地域を結ぶ駅北東通り線の整備のための調査設計及び詳細設計業務委託料



防災情報配信システム通信料

108万9千円

災害等に関する緊急情報を電話で配信するサービスに関する通信料



上里町観光協会補助金

410万円

観光振興の推進、地域経済の活性化に寄与することを目的とした外郭団体の補助

若者の未来応援給付金

650万円

未来を担う若者の節目(中学校と高校卒業年)に今後の活躍を応援するとともに、次のステージへ進む際にかかる費用それぞれ1万円を補助

令和6年度 議会が注目する新規事業



保健センター等複合施設建設工事費

3億3581万6千円

健康と福祉の拠点として、保健センター、老人福祉センター、福祉町民センターの3館を複合化する「(仮称)保健センター等複合施設」の建設工事費及び土地購入費



屋内運動場空調整備工事設計業務委託料
(中学校)

1041万3千円

熱中症対策などで町立中学校2校の体育館等に空調設備を設置するための設計業務委託料



保育所運営費保護者負担金(歳入) 0円
(参考: 令和5年度歳入 4921万8千円)

子どもの年齢、人数、保護者の所得に関わらず、すべての子どもの保育料を無償化

※埼玉県内町村初!

第1回3月定例会

議案に対する各議員の賛否

議案		議員名												結果		
		石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	香澤幸子		高橋 仁	黨 浩之
上里町職員定数条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
上里町一般職の任期付職員の採用等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	可決
上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
上里町営住宅条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町公民館設置及び管理条例の一部を改正する等の条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町下水道条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
上里町町道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和5年度	上里町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
工事請負契約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和6年度	上里町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
	上里町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
	上里町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
	上里町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情（委員会審査結果：採択）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		採択
専決処分の承認を求めること（承認第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		承認

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)

新常任委員会委員及び議会運営委員会委員を選任



第2回
5月
臨時会

5月1日

第2回5月臨時会は5月1日の1日間の会期で行われ、2件の町長提出承認を審議しました。

◆ 専決処分 ◆

専決処分の承認を求めること（承認第2号）

要旨 「上里町税条例の一部を改正する条例」について、令和6年3月31日に専決処分したので承認を求めるものです。

※改正点
・ 定額減税に伴う特別税額控除に係る規定の追加等

◆ 専決処分の承認を求めること（承認第3号）

要旨 「上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の改正について、令和6年3月31日に専決処分したので承認を求めるものです。

※改正点
・ 課税限度額の見直しと低所得世帯に係る軽減判定所得の見直し

◆ 選任 ◆

常任委員会委員の選任・議会運営委員会委員の選任

※下表をご覧ください。

上里町議会委員会構成

令和6年5月1日現在

議長 浩之 戸矢
副議長 隆光

区分	総務経済常任委員会	文教厚生常任委員会	広報広聴常任委員会	議会運営委員会
委員長	石井 慎也	伊藤 覚	高橋 仁	猪岡 壽
副委員長	高橋 仁	金子 義則	植原 育雄	杵澤 幸子
委員	高橋 勝利	飯塚 賢治	石井 慎也	高橋 勝利
	猪岡 壽	齊藤 崇	伊藤 覚	齊藤 崇
	植原 育雄	新井 實	金子 義則	高橋 正行
	高橋 正行	杵澤 幸子	飯塚 賢治	新井 實
	黛 浩之	戸矢 隆光	戸矢 隆光	

第2回5月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名													結果	
	石井慎也	伊藤覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡壽	齊藤崇	植原育雄	高橋正行	新井實	杵澤幸子	高橋仁		黛浩之
専決処分の承認を求めること（承認第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
専決処分の承認を求めること（承認第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	長	承認

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。（○賛成 ×反対）



飯塚 賢治

問 奨学金返還支援制度の導入を

答 導入に向けて検討する

質問 1 災害後の課題について

問 最終処分場や再生資源の需給バランスを含めた処理体制として、近県単位でパッケージ化を図るなど、包括的な災害廃棄物処理体制における新規スキームの検討が必要ではないか。

答 災害廃棄物等の処理の協力に関する協定を町が属する埼玉県清掃行政研究協議会と埼玉県一般廃棄物連合会との間で締結している。小山川クリーンセンターの処理可能量を越えることが想定されるため、民間企業を含め、対応の強化に向け協定の締結の検討を進めていきたい。

問 支援物資は必要な物を必要な分だけ必要な時に必要なところが大事だが、仕分作業ができる集積場所はどのように考えているのか。

答 能登半島地震において、石川県七尾市へ職員1名を派遣した。現地で避難所運営の支援業務を行い、被災

自治体のニーズや支援物資の受入れ、仕分の大変さについて報告を受けている。

今回の職員派遣で得られた知見を踏まえ、物資の調達から受け入れ、仕分から配送に至るまで、必要な支援が適時適切に実施できるよう努めていきたい。仕分作業については、町があらかじめ位置づけている集積スペースに不足が生じる場合には、他の公共施設等を活用することも想定している。



支援物資

質問 2 奨学金返還支援制度について

問 町の奨学金貸付制度を利用された方で、その才能を磨いてきた人材が町にとどまりこの町のために活躍している方はどのくらいいるのか。

答 奨学金貸付制度の利用者数は毎年減少傾向である。上里町に在住し、活躍されている方は利用者全体の約3分の1の方である。

問 奨学金返還支援制度とは、自治体や企業が要件を満たす学生に対し、奨学金を肩代わりする制度である。

奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減するとともに、地方創生の観点から若者の地方定着を促す本制度の導入を上里町の未来のために行っていく必要があると考えるが。

答 奨学金返還支援制度を行うことにより、返済の不安もなく、若者が将来にわたって、地域で活躍することとは、地方創生の観点からも大変重要である。導入に向けて検討させてもらいたい。



質問 3 子育て支援について

問 保育料完全無償化に埼玉県町村では初ということ、踏み切ったことは賛同する。ほかにいくつか選択する事業はあったのか。

答 男性の育児休業取得を促すための支援事業や給食費無償化も含め検討した。子育て支援策といっても、費用も対象も支援の方法も様々である。今後何が必要か、何ができるのか検討しながら事業を推進していく。

問 こども家庭庁のいろいろな事業に注視する必要があると思うが。

答 国の少子化対策、子ども子育て支援施策が大きく変わろうとしている。その動向を注視しながら町の対応を考える。



空の杜保育園



一般質問

石井 慎也

問 農業用水パイプラインの更新の課題は

答 100億円以上の予算が必要になる

質問 1 神保原駅北まちづくりについて

問 町の計画を作る際に民有地が入っていると、地権者がその土地を民間に販売してしまうと、数々の調査、業務委託が無駄になってしまい計画が大きく狂ってしまうのではないか。

答 行政が町の発展に寄与し、都市計画の要素を含む計画を立案する際には、民有地を含めた計画になることもあるため、十分な周知をした上で定めることとしている。

問 大型商業施設跡地が町の土地になるという確約が無かったのに高校誘致を行ったのはなぜか。

答 町の発展に寄与するという地権者の意向と、町の意向がほぼ方向的に合意していたので高校誘致を進めた。

質問 2 安心して営農出来る環境作りについて

問 老朽化の進んでいる農業用水パイプラインを更新

するのにあたり、どのような課題があるのか。

答 上里土地改良区、上里西部土地改良区に埋設されている農業用水パイプラインは総延長約180kmある。上里土地改良区の全てのパイプラインを更新した場合、おおむね100億円以上の予算が必要になる。

問 パイプラインが使えるい期間が増えてしまうと施設栽培を行っている農家はかなり影響を受けてしまう。井戸を掘り営農に必要な水を確保しようとする方に、町として補助金を出すことは出来ないか。

答 町では現在補助的なものはないが、パイプラインの代替策としても良い方策だと思われるので、県への要望等踏まえ、今後検討していきたい。

質問 3 町道の整備、維持管理について

問 側溝蓋を町がまとめて購入し、蓋の設置を町民の方々のご協力で行って頂

れば予算が浮き、1件でも多くの要望に答えることが出来るようになるのではないか。

答 側溝蓋はコンクリート製品で重量もあり作業時のけがの心配がある。住民独自の場合は自己責任となってしまうので憂慮しなければならぬ。他の自治体の制度や似たような制度がないか調査する。

問 上里町には約100kmの未舗装の町道がある。夏場は草刈りが間に合わず、大きくなった草が通行の妨げになっている。そのような場所を全てシルバーにお願いするには限界があるので、草刈りにかかる経費を町が支給し、近隣の住民に草刈りを手伝って頂くことは出来ないか。

答 燃料代などの支給に伴う実施状況や実働時間の把握に課題がある。住民参加型の合理的な事例がないか調査、検討していく。

質問 4 ハラスメントについて

問 ハラスメントの実態を把握する為にも、アンケート調査を行ってはどうか。

答 他自治体の参考事例など調査等を行い、職員組合とも連携しながらハラスメント実態調査の実施に向けて検討していきたい。

問 アンケートは紙媒体ではなく、デジタル媒体で行う方が個人を特定されることなく、より公平に調査出来るのではないか。

答 紙ベースではなくて、今の情報媒体を使って進めていきたい。



農業用給水栓



戸矢 隆光

問 計画の整理を進め丁寧に着実に

答 30年後の町の姿を展望

質問 1
上里町コンパクトシティの今後の姿勢と取り組みについて

問 人口減少と高齢化に対応した都市機能集約型の都市づくりとうたっているが、今、神保原駅北や駅南に問われているのは、今後の町づくりで拠点市街地や住宅市街地にいかに住んでもらえるかを考えると同時に、現在着手している様々な計画の整理を進めると同時に先進地などを勉強して丁寧に着実にやっていく必要があるのではないかと。

答 町では20年後、30年後の町の姿を展望し、コンパクトで持続可能な都市構造の形成の実現に向けて、人とのつながりを大切にして、選ばれる町、住み続けたい町を目指し、町づくりを進めている。

問 上里町においても市街地が空洞化して集落の方にみんな移ってしまい、神保原駅周辺がどうにかならないかということがコンパクト



神保原駅北周辺

クトシティの一番の目的では。持続ある町づくりというところであるが、現在、町長は1億円ぐらいのお金が投入されている神保原駅北にどのような思い入れを持っているのか。

答 立地適正化計画を含めて上里町の20年後、30年後の将来を据えた取り組みというところで一貫している。駅北周辺の町づくりや保健センター等複合施設等の生活に密着した誘導施設の立地を促進することによって、駅を中心とした拠点市街地の利便性の向上が図られる。

また、公共交通との連携強化と各種施策を組み合わせて推進することにより、拠点性が向上し居住の誘導を促すことにつながると考えている。

問 町づくり事業が始まる時に先進地視察を実施するべきではなかったのか、新しい町づくりを念頭に入れ、様々な事業を投下していくべきだったのではないかと。基本構想や計画はペーパーで決められて、実際にやってみる人はいなかったのではないかと。

答 町も先進地的になるように、基本的には県や国との整合性を取っていく方針である。今後、議員から先進地視察の提案があれば取り入れていきたい。

質問 2
行政区について

問 行政区に職員を配置することにより、なお一層行政区との連携も密に図られ、相談相手として心強いのではないかと。これらを実施することは行政サービスにつながるのではないかと。

答 昨今の働き方改革や就業時間の切り分けなど難しい課題もあり、こうした社会経済の変化を踏まえながら、住民

に最も身近な基礎自治体として職員がいかに行政区に関わり貢献できるか、今後も引き続き検討していきたい。

質問 3
保育園児と幼稚園児の給食費の無償化について

問 子育てしやすい状況を取り戻すために、子育て世帯への経済的支援を目的とし、町内の保育園・幼稚園児の給食費の無償化についての考えを聞きたい。

答 保護者の就労に関係なく、子供を保育所等に預けることのできる「誰でも通園制度」が来年度から試行的に行われるが、こうした社会の変化に伴い、幼稚園・保育所の給食費無償化が必要となったときに、様々な子育て支援策の優先度を考慮し、他の自治体も参考に検討していきたい。





一般質問

新井 實

問 神保原駅北まちづくりについて

答 令和6年度事業骨格は駅北道路整備計画

1 大地震における地方防災
対策の見直しについて

問 「阪神大震災」の教訓、能登半島地震で惨禍の教訓は再び突きつけられ、地方防災対応の対策の在り方、見直しの必要性について。

答 大規模災害発生時における災害対策本部の対応について、上里町地域防災計画では、町の組織及び機能の全てを上げて活動する体制と定義しており、議会対策本部と連携し、救助及び救護活動等協力体制を確立することとされている。

問 大地震被災地での避難所における心身の不調などで亡くなる「災害関連死」への危機に対する対応と対策について。

答 町では、令和元年東日本台風の際には保健師が各避難所を巡回し避難者の健康観察を行う等、避難者への心身のケアに努めた経験を踏まえ、備蓄品の充実も図っている。また、避難生活が長期化した場合に備え、在

宅や車中泊避難等、避難所以外に滞在する避難者への配慮についても行っていく。

2 人口戦略会議提言の人口減
歯止め策について

問 民間有識者らでつくる「人口戦略会議」への人口減少を食い止めるための提言「人口ビジョン2100」に対する今後の地方創生の在り方について。

答 町では、地域経済の活性化に向け、企業誘致の取組を強化したり、若年層の移住を見込んだ保育料無償化については、来年度実施に向けて予算計上したところである。これらが実施できれば、少子化対策や移動促進などの効果が期待できる。

問 今後の地方再生への人口減歯止め策には、企業の従業員に対する物価上昇を上回る賃上げの伸び実現が必要なことについて。

答 本町においても、国の総合経済対策に基づく物価高騰対応重点支援創生臨時交付金を活用し、学校給食

費の期間限定付の無償化や水道基本料金の一部減免など、各種支援策を実施している。

3 神保原駅北まちづくり
計画について

問 神保原駅北まちづくり「駅前広場・神保原停車場線等整備」の検討及び進捗状況について。

答 令和6年度の事業内容について、駅北まちづくりの骨格である道路整備を指した取組はもとより、駅機能の改善や駅前広場の検討を並行して取り組んでいく。

4 学校図書館への
新聞配備について

問 町の公立小・中学校に新聞を配備することについて、教育委員会が新聞社を一括契約し、学校側に負担をかけないことについて。

答 教育長 現在、町内の全小・中学校に確認したところ、複数紙を配備している学校はなく、全ての学校で埼玉新聞1紙を配備している状況となっている。

次に教育委員会での一括契約については、学校の自主性を侵害することになると考えており、新聞社との一括契約は考えていない。

今後、新聞の複数紙配備については、国の第6次学校図書館図書整備等の5カ年計画の中で、児童・生徒の発達段階、学校・地域の実情に応じた適切な新聞の複数紙配備に努めることとされているので、各学校の状況に応じて適切に対応していきたいと考えている。



神保原停車場線



一般質問



齊藤 崇

問 令和6年度の新規事業は

答 57項目の事業を計画

質問 1 町の教育問題について

問 9月中頃からインフルエンザが流行し、コロナ感染症と同時流行。学級閉鎖や休校が相次ぐ中、授業時間の確保、授業の遅れが心配。

答 教育長 学校では、標準授業時数を基に年間の授業時数を定めており、感染拡大による学級閉鎖や休校、災害発生による登下校時刻の変更があることを想定し、余剰時間を設けている。また学級閉鎖等の際は学習内容の理解を図るため、オンライン授業を実施。

問 現在、町では2校の中学校を運営。近年、少子化が進み、児童・生徒数の減少が顕著である。近い将来1校でカバーできる時が来ると思う。その時に備えて今から統廃合について考えてはどうか。

答 学校施設の統廃合を検討する際には、住民意識に十分配慮する事が重要。また児童・生徒の教育環境に大きく影響するため、教育部局等関係者と協議を重

ね、慎重に検討していく。

教育長 平成27年1月、文科省で策定した公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きでは、中学校の適正規模は各学年4学級から6学級、全学年合計12学級から18学級と示されている。

現在、上中は全学年合計13学級、北中は9学級。生徒数は減少傾向だが、1校に統廃合するには校舎棟の増築が必要。しかし、総合管理計画で目標としている計画期間40年間で、公共施設の延べ床面積約20%削減を達成するためには、学校施設の統廃合に関する検討は必要と考える。

質問 2 老人福祉センターについて

問 3館複合施設の中に老人福祉センターを計画。反対ではないが、名称を老人福祉センターではなく、多くの町民が多目的に利用できるような名称を町民から公募してはどうか。

答 老人福祉事業を基幹としつつ、多世代交流を行える施設にして行きたいと考

える。施設の名称についても、施設の機能を示す老人福祉センターという部分は残しつつ、町民に親しみを持ってもらえる名称を検討して行きたい。

問 老人福祉センターについて、町の高齢者を対象に意識調査が必要かと思うが。

答 令和4年11月実施の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、高齢者の70%以上が趣味を持っている一方、地域のあらゆる活動に週1回以上参加している方は6%と低く、興味や意欲がないと回答。

令和5年8月実施の上里町保健センター等複合施設整備に関するアンケート調査では、60歳以上の高齢者の内73%がセンターを利用したことがない、49%が多世代交流の機会があれば参加したいと回答。

質問 3 BYODについて

問 現在、BYODを導入している企業は少なく、官公庁でも教育現場では使用しているところもあ

る。近隣市町でも一部取り入れている。導入に当たっては労使の取り決めが必要と思うが本町では整備されているのか。

答 情報漏えいのリスクや職員のモラルなど一定の課題があり、対策を講じていく必要があると認識している。先進自治体等を参考にしながら規定等の整備を進めたい。

BYOD (Bring Your Own Device) とは・・・職場が用意する情報機器ではなく、従業員が個人所有する情報機器を持ち込んで利用すること。

質問 4 令和6年度計画の新規事業について

問 令和5年度と比較してどれ位の事業数か、また令和5年度事業の達成度について。

答 令和5年度当初予算に計上の4事業を令和6年度に繰越予定。令和6年度新規事業は令和5年度を上回る57の事業を計画。引き続き各種計画等の方針に基づき取り組んでいく。



一般質問

植原 育雄



問 学校給食費の無償化について

答 試算で町負担額は実質約9300万円

質問 1 公民館の充実について

問 中央公民館がワープ上里の建物内に併設されているが、その現状と課題について。

答 教育長 総合文化センターと中央公民館のそれぞれの機能をコンパクトに収めており、これまでのところ課題や問題点はない。

また、ロビーに打合せスペースを設けたほか、必要に応じて部屋を利用することも可能なため、現状では地区公民館との連絡調整にも影響は生じていない。



総合文化センター ワープ上里

問 公民館利用団体の要望について。

答 味噌作りの機械は令和6年度当初予算に更新経費を計上した。陶芸の窯は修理しながら使って欲しい。

問 地区公民館の充実について。

答 利用者がより充実した活動ができるように令和6年度で音響設備等の新規設備を導入する予算を計上した。

問 学びとふれあいの町宣言と公民館について。

答 教育長 宣言に基づき生涯学習活動の支援と学習成果の活用や文化団体の育成と文化の促進等を行っている。

質問 2 学校徴収金について

問 学校徴収金の対応が大変という新聞報道があるが、その現状と課題について。

答 教育長 引き落としは農協の口座のみで対応しており、口座がない方は新入学時に口座開設をお願いしている。未納が発生した場合は学校事務職員が督促を行う。督促方法は通知や授業参観で声かけを行う等の



上里中学校

対応をしている為、教員が未納解消の為に電話や家庭訪問はしない。

問 学校徴収金の管理システム導入について。

答 教育長 学校事務に支障が生じていないので、導入は費用対効果も含め慎重に検討したい。

質問 3 学校給食費の無償化について

問 本庄児玉郡市内の学校給食費無償化実施状況について。

答 神川町は平成31年4月から、美里町は令和3年4月から実施している。令和

5年度に物価高騰に対応の為、町独自支援策として9月から3月までの7か月分の給食費を補助し、緊急的な無償化を実施した。給食費の無償化は、多岐にわたり影響を及ぼす複雑な問題であり、メリットとデメリットを十分に検証し、検討することが重要である。

問 上里町内小中学校の学校給食費無償化の1年間の費用について。

答 令和5年5月1日現在の児童生徒数での試算では、総額1億1000万円、就学援助等の支援額が約1700万円なので、町の負担額は約9300万円増える。



本庄上里学校給食センター



高橋 勝利

問 女川町の大震災復興取組を反映しては

答 災害に強い安心で住みやすい町作りを目指す

1 女川町のコンパクトシティの取り組みについて

問 女川町は復興方針として防災・産業・住居環境・保健等・人材育成の五本の柱を掲げたが町の考えは。

答 町としても、女川町や他自治体等のまちづくりの事例を踏まえ、災害に強く安心して住み続けられるコンパクトなまちづくりを目指す。それには立地適正化計画の推進と併せ、神保原駅周辺のまちづくりや保健センター等複合施設の建設など、行政だけではなく町民や民間事業者、関係機関等と連携し、取り組みを継続していく事が重要と考えている。

問 報道番組で女川町のコンパクトシティの取り組みが紹介された。内容は東日本大震災から立ち上がった女川町の復興の取り組みであり、その取り組みを受け、今後の上里町の様々な取り組みに反映できればと思っている。そうした立場から

町長の見解を聞きたい。

答 立地適正化計画では、生活サービス施設や住居等がまとまって立地した利便性の高いコンパクトなまちづくりとこれと連動した公共交通ネットワークの形成により、人口減少や高齢化に対応した将来にわたり住み続けられる安全、安心なまちの実現を目指していく。



女川駅周辺

問 女川町はワーキンググループを形成し、民間主導の公民連携によるまちづくりをした。町長の考えを聞きたい。

答 保健センター等複合施設建設については、平成29年度に健康増進センター検討

ワーキンググループを発足させ、複合施設建設の可能性等について協議を開始した。本ワーキンググループは建設の可能性等を探る段階であったため、役場職員のみメンバーの構成とした。

2 埼玉県公立高等学校入学者選抜方法改善案を公表した事について

問 改善策について、12月中に公表と答弁したが、

答 教育長 12月21日に埼玉県教育委員会より、埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について及び県民コメントの結果について報告された。県民コメントの結果は、122件のコメントが寄せられ、内容の一例として自己評価資料及び面接に関するものでは、「面接の客観的な評価をしてもらいたい」とのコメントに対し、埼玉県教育委員会は、「面接は受験生本人が作成した自己評価資料に書かれた内容確認や学校内外での活動、意欲などを評価す

るために実施します。評価の観点や評価基準に関しては、事前に公表してまいります。」と回答した。

問 県民から1か月間意見を募ったわけだが、結果は87人、122件であり、あまりにも少ない意見であり心配である。

答 教育長 県民コメントは、埼玉県教育委員会教育指導課が行っている県民コメント募集であり、上里町教育委員会として意見の応募はしていない。また、令和9年度入学者選抜から実施する新しい埼玉県公立高等学校入学者選抜方法については、埼玉県教育委員会が作成したリーフレットを小学校5、6年の児童生徒及び保護者に配布、周知している。



高等学校入学者選抜方法



一般質問

沓澤 幸子



問 学校施設の天井、窓、壁に断熱対策を

答 断熱性・省エネ性能も考慮した工法を検討

1 高齢者の健康対策について

問 加齢による聴力低下は、治療法がなく補聴器が必要となる。前回質問後の検討状況は。

答 導入後に中止した自治体もある。導入事例、利用状況等調査し検討したい。



補聴器

問 難聴は鬱病や認知症等の原因にもなる。難聴レベルを把握できるような町の健康診断項目に聴力検査の追加を。

答 国保・後期高齢者医療加入者を対象とした法律に基づく健康診断の項目に聴力検査は含まれない。検査は受診動向のきっかけになる。と認識。本庄児玉郡市で統一しているので注視し検討していく。

問 高齢者に発症が多く重症になる肺炎球菌ワクチンの国助成対象外の抗体価が下がる2回目ワクチン接種助成と、強い痛みが長期間

続く带状疱疹ワクチン接種助成を。

答 肺炎球菌は予防接種法に基づいて実施するが、带状疱疹ワクチンは予算計上した。

2 子どもの生活応援策について

問 酷暑が長期間続く今、教室の温度管理は子ども達の命を守るためにも重要。エアコンだけでなく、天井、窓、壁に断熱工事を施す対策を。

答 教育長 公共施設維持管理保全計画の学校改修は経年劣化の回復であり、省エネ性能など社会的要求は大規模改修と位置付けているが、現計画の中で、断熱性・省エネ性能も考慮した工法や材料を検討する。

問 教材費の一部公費負担増による保護者負担と教員の仕事負担はどうか。保護者負担の教材費は何か。全て無償にした場合の負担額は。

答 教育長 保護者負担を軽減するため令和4年度に予算を1割増額した効果も

含め調査進めたい。教材は特定できないが、教材費無償化の予算は約3800万円である。GIGAスクールなど、教育環境を整備していく中で教材費も含め検討する。

問 試験的な上里中学校プール授業の民間委託は、生徒には好評だったが、プール授業を無くす判断は生徒や保護者の意見を聞いたか。子ども時代は様々な運動体験に触れることが将来のスポーツライフの選択につながるのでは。

答 町営プール建設の判断には至っていない。広域圏1市3町の管理者会議で、今後のプールについて検討することになった。

問 町営プール建設の判断には至っていない。広域圏1市3町の管理者会議で、今後のプールについて検討することになった。

問 保育料無償化が実現するが、放課後保育料は、

民間は1万円強。公立は5000円です。放課後保育料の保護者負担軽減の考えは。

答 民間の場合、提供されるサービス等が違うため保護者負担も異なっており、一律補助は難しいと思う。

3 非核・平和のPRについて

問 デジタルサイネージを活用した平和都市宣言は、目に留まる機会が少ない。PR方法を増やすのは大事だが、費用対効果はどうか。

答 現在20秒間で観光物産情報、写真ニュースなどと順次表示している。今後、設置場所、掲示内容、掲示時間につき検証し効果を見込める運用をしていく。デジタル庁の考えもあり情報をタイムリーに流すのが素晴らしい。



デジタルサイネージ



猪岡 壽

問 年 100 万円消費しているかみさと荘について

答 複合施設供用開始後、早急に解体する

質問 1
人口問題について

問 地方都市の人口減少が進み、東京一極集中が止まらない中、上里町の人口も減少傾向にある。令和5年1月から12月の人口動態では、出生数148人、死亡数441人、転入数1573人、転出数1285人で年間5人の減少。昨年の人口3万554人より減少することは確実で、3万人を割る可能性がある。人口が減ると税収が減り、町の財政にとって大きな痛手となるが、町長の人口減少対策についての見解を。

答 町においても人口減少抑止と地域活性化を目指すため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、令和2年3月には第1期計画の期間満了に伴い第2期を策定した。成果は推計値を110人上回った。令和6年度より子育て支援事業として保育料の完全無償化を予算化した。

問 出生数を増やすには婚姻数を増やすことが大きな

問題だ。上里町の人口動態を見ると転入者の増加が目立つ。そこで工場誘致などにより移住者を増加させ人口増に繋げるべきと思うが、町長の見解は。

答 魅力ある企業誘致によって若い移住者が増えれば、少子化などあらゆる点で効果があるのではないかと思う。

質問 2
保健センター等
複合施設について

問 コンパクトで効率の良い庁舎だと思うので、早急に進めていただきたい。老人福祉センターには、高齢者が健康寿命を延ばすための健康器具の設置を願いたい。駐車場が狭いと危惧されるが、確定申告の時期は、昨年までは申告者が大勢来場し、庁舎内も駐車場も混雑していたが、今年は順番制となり混雑は見られない。また、区長会や民生委員の会議は男女共同参画推進センターを使用することにより、駐車場不足も解消される。それでも不足する

場合は、役場本庁舎北側の空き地を賃貸借すればよいと思うが、町長の見解は。

答 確定申告の順番制は町民から喜ばれている。庁舎内の会議は重複しないよう予約管理システムに入力し、駐車台数を確保したい。

問 かみさと荘は年間100万円の経費がかかる。補助金で建てた関係もあり、すぐには解体できないと思うが、町長の見解は。

答 複合施設供用開始後という条件があるが、早く解体するよう努力する。

問 かみさと荘の解体後の土地は、民間の利用したい団体及び企業に売却すべきと思うが、町長の見解は。

答 この場所は民間の関係者で関心を持っている方もいるので、早急に進めたいと考えている。

質問 3
大型商業施設跡地の
利用について

問 大型商業施設跡地を利用する場合は、民間同士で賃

貸又は売買し、町は進出先の仲介役やその周辺のインフラ整備に力を注ぐべきだと思うが、町長の見解は。

答 町の中心拠点等であることから、あらゆる選択肢を検討していきたい。また、インフラ整備については、道路計画が進むよう関係機関との協議を進めていきたい。

問 下野堂線を駅近くまで延伸する計画だが、駅の利用者が増えるので賛成である。下野堂線の推進とともに、国道17号線から駅通りのクラランクの解消等を目指し、県と調整していただき、駅通りの拡幅と歩行者の安全と駅北の賑わいを復活させる計画だと思う。道路幅も片側3mにして、歩道を設けた道路にしていきたいと思うが、町長の見解は。

答 県と協議を進め、駅通りにふさわしい道路設計を検討する。駅北東通り線については、進められるところは着手していく。

1月29日(月)
視察先:日本薬科大学
(北足立郡伊奈町)

文教厚生常任委員会は今回、上里町と包括連携協定締結をいたしました「日本薬科大学」への視察研修を行いました。

視察では、日本薬科大学が地域や企業とともに学ぶ大学として数々の連携協定を結んでいることを学びました。

また、学長が全ての大学の取り組みの説明、大学内の案内、質疑応答を行っていただきました。内容は、開学以来、日本初の「漢方薬科学科（現在は漢方薬科学コース）」を設置するなど健康や医療に関する資源を生かし、地域・産学官連携商品を次々と開発、国際交流も活発に行い、連携協力事項として、産学官による地域を代表する新たな名産品づくりなど地域資源を活用した産業及び観光の振興に関する事や、教育（食育を含む）及び生涯学習に関する事などが協力事項として挙げられます。

また、新たな名産品づくりなどに地域資源を活用した取り組みも紹介され、例えば秩父の自然が育んだ「キハダ」の木と毘沙門水で苦味爽やかな「森のサイダー」を作った例もあります。なお、近隣自治体においては、美里町・神川町とも協定を締結しています。

上里町の特産品と言えば、梨・いちご・小麦・トマト・白菜・玉ねぎがありますが、秩父市のように「キハダ」などの地域の特産品を使った産学官連携商品開発などに取り組んだ例もあります。上里町も単なる協定に終わることなく、上里町の特産品が活用されることに期待したいと思います。



受賞おめでとうございます。

児玉郡町議会議長会より飯塚賢治議員、猪岡壽議員、齊藤崇議員が地方自治の進展に寄与された功績により表彰され、優良議員表彰（永年在職者）（在職10年）を受賞しました



(左から、飯塚賢治議員、猪岡壽議員、齊藤崇議員)

議会日誌

3月

- 4日 定例会開会、町長の施政方針等、一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 全員協議会
- 7日 議案審議 (条例改正、補正予算等)
- 8日 議案上程 (当初予算)、議会運営協議会
- 11日 全員協議会
- 12日 全員協議会
- 13日 全員協議会
- 14日 議案審議 (当初予算)
- 18日 総務経済常任委員会
- 21日 全員協議会、請願等審査報告、閉会
- 26日 本庄上里学校給食組合議会
- 28日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

4月

- 4日 町村長・正副議長合同研修会
- 15日 議会広報広聴常任委員会
- 17日 議会運営委員会

5月

- 1日 全員協議会、臨時会開会
- 14日 議会広報広聴常任委員会
- 15日 議会運営協議会
- 22日 児玉郡町議会議長会総会



編集後記

5月1日に臨時議会が招集され、各委員会の委員が新しく選任されました。議会広報広聴常任委員会も新たなメンバーになりました。

今年度の事業計画については、かみさと議会だよりの企画・校正会議、議会広報研修会への参加、意見交換会ならびに議会

報告会、行政視察等を検討していきます。

今後とも、議会の様子や町政をわかりやすく、皆様により親しまれる広報誌づくりに取り組んでまいります。町民の皆様の声を聴き、ひらかれた議会運営にご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

高橋 仁

- *****
- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 高橋 仁
 - 副委員長 植原 育雄
 - 委員 石井 慎也
 - 委員 伊藤 寛
 - 委員 金子 義則
 - 委員 飯塚 賢治
 - 委員 戸矢 隆光

第3回6月定例会の日程(予定)

日 月 火 水 木 金 土

						1
2	3	4	5	6	7	8
		(開会) 一般質問	一般質問		議案審議 (条例・補正等)	
9	10	11	12	13	14	15
		常任委員会	(閉会) 報告・採決			
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
 ※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
 ※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第3回(6月)定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(火)	金子 義 則	①少子化対策子ども子育て支援について ②子どもの通学路安全確保について ③上里の小中学校生徒児童の学力向上支援について
	新井 實	①平和を学ぶことについて ②学用品の無償配布について ③埼玉、群馬県境に「巨大空港」構想が浮上していることについて
	石井 慎 也	①消防団について ②熱中症対策について ③小学校の外トイレについて
5日(水)	高橋 勝利	①町長と二十歳代表との対談について ②三館複合施設について ③災害派遣について ④子育て支援事業予算化を受けて ⑤民間有識者でつくる人口戦略会議が公表した報告書について
	猪岡 壽	①上里ゴルフ場について ②小・中学生の英語教育について
	伊藤 寛	①県道勅使河原本庄線(旧中山道)沿線の交通安全対策について ②小中学校における金融教育について
5日(水)	香澤 幸子	①地球温暖化対策について ②地域公共交通形成計画について
	齊藤 崇	①町民の声について ②育児休業について ③経済対策について
	戸矢 隆光	①人口減少問題について ②入札結果の報告について ③事業の実施について